

## 第2章

豊橋市生涯学習推進計画（2001-2010）  
の取り組み状況



## 第2章 豊橋市生涯学習推進計画（2001－2010）の取り組み状況

生涯学習推進計画（2001－2010）では、豊橋市基本構想のまちづくりの「基本理念」を生涯学習活動の面から実現していくことを目的として、以下の基本理念と施策の5本柱を定め、生涯学習社会の構築に向け取り組んできました。

<豊橋市生涯学習推進計画の基本理念>

だれでも、いつでも、どこでも、何でも、自発的意思によって学習でき、それによって個性的な人生が選択できる生涯学習社会の構築を図ります。

○施策の体系（施策の5本柱）

- 1 総合的な生涯学習体系の確立
- 2 総合的な生涯学習関連施設・地域体系の確立
- 3 総合的な学習相談・学習情報提供システムの確立
- 4 生涯学習社会における新たな学校教育の確立
- 5 総合的な生涯学習の推進体制の確立

以下、5つの施策ごとに取り組む状況を検証します。

## 1 総合的な生涯学習体系の確立

### 〔取り組み状況〕

市民の多様かつ高度な学習活動を可能にするため、市等の実施する事業の整理・再編成を進め、必要な新規事業を加えることによって、生涯学習事業の体系化の推進を図ることを施策の柱として取り組んできました。

「生涯学習市民大学トラム」\*では、地区市民館で開催する講座を統合するなど事業の整理・再編を進めるとともに、市内の大学やボランティア・市民活動団体と連携した講座を開催してきました。

また、高等学校や民間企業などと連携し新たな講座を開催するなど多様化、専門化する市民ニーズに対応してきました。

### 〔課題〕

今後ますます多様化、専門化する市民の学習ニーズに応えるため、ボランティア・市民活動団体、民間企業などの専門性を生かし多様かつ高度な講座を開催していく必要があると考えます。

また、市、国・県、大学などが行なう講座について整理・再編・統合などを行うとともに、カルチャーセンターなど民間事業者との役割分担をしながら、一つのテーマについて段階的に学ぶことができる仕組みを考えていく必要があると考えます。

## 2 総合的な生涯学習関連施設・地域体系の確立

〔取り組み状況〕

市民の多様かつ高度な学習活動を可能にする場を設けるため、既存の生涯学習関連施設を見直し、新規施設の設置などによって生涯学習関連施設の体系化を図ることを施策の柱として取り組んできました。

生涯学習関連施設の整備では、アクアリーナ豊橋、こども未来館、りすば豊橋の建設や「拠点的地区市民館」\*のリニューアル、総合スポーツ公園の整備、自然史博物館の古生代展示室・中生代展示室のリニューアルオープンなど段階的に整備を行なってきました。

「拠点的地区市民館」のリニューアルでは、バリアフリー化、子育て支援機能の充実などの整備を行ない、高齢者への対応や親子でふれあうことのできる場所の提供を行なってきました。

また、中央図書館・配本センターとのネットワーク化を順次行ない、図書の貸借や予約などのサービス向上を図ることにより図書館分室機能の充実を図りました。

＜参考資料＞

■地区市民館リニューアルの経過

年度	市民館名	リニューアル整備の重点
14	二川地区市民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化（多目的トイレの設置）</li> <li>・エレベーター設置（3階以上の館）</li> <li>・図書室と閲覧室、学習室機能の分離</li> <li>・多目的（床：フローリング、フィットネスなどの軽運動活用）</li> <li>・プレイルーム、プレイコーナーの設置</li> <li>・太陽電池パネル、風力発電機付屋外灯、電球LED採用 等</li> </ul>
16	石巻地区市民館	
17	北部地区市民館	
18	南部地区市民館	
19	青陵地区市民館	
20	牟呂地区市民館	
21	豊城地区市民館	

〔課題〕

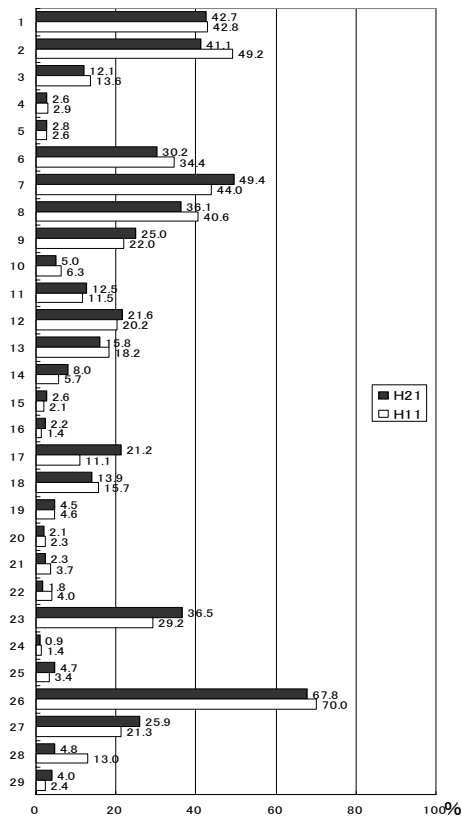
生涯学習関連施設について、生涯学習市民アンケート（平成21年実施）の結果では、「過去5年以内に利用したことがある生涯学習関連施設」として中央図書館は44.0%から49.4%と5.4%増えていますが、地区市民館は42.8%から42.7%とほぼ横ばい、校区市民館については49.2%から41.1%と8.1%減少しています。地区市民館、校区市民館については、市民ニーズに対応した、市民が使用しやすい施設にすることで、利用率が向上するよう整備を行う必要があると考えます。

参考資料<市民アンケート結果>

〔生涯学習関連施設の利用状況について〕

質問事項：あなたは、次の施設を過去5年以内に利用したことがありますか。（複数回答）

1. 地区市民館
2. 校区市民館
3. 生活家庭館
4. 少年自然の家
5. 青少年センター
6. 市民文化会館
7. 中央図書館
8. 美術博物館
9. 自然史博物館
10. 駅前文化ホール
11. 地区体育館
12. 学校体育館
13. 総合体育館
14. 市野球場
15. 市テニスコート
16. 市武道館
17. 地下資源館
18. 視聴覚教育センター
19. グリーンスポーツセンター
20. 教育会館
21. 男女共同参画センター
22. 労働会館
23. ライフポートとよはしコンサートホール
24. 勤労青少年ホーム
25. 民間カルチャーセンター
26. 総合動植物公園
27. 二川宿本陣資料館
28. 水の展示館
29. その他



### 3 総合的な学習相談・学習情報提供システムの確立

#### 〔取り組み状況〕

市民の多様かつ高度な学習活動を支援するため、生涯学習関連施設間・担当課等をコンピュータでネットワーク化を図り、そのセンター施設を整備し、学習情報の提供を図ることを施策の柱として取り組んできました。

市、市内の大学、近隣市町、関係団体の最新の講座、イベント情報や施設情報、講師・指導者情報、グループ情報などの生涯学習情報を総合的に提供するため、平成17年には生涯学習情報サイト「e-glad!」※を開設しました。

また、「生涯学習情報紙『グラッド』」※を年2回（4月、9月）発行し、各公共施設で配布するなど、様々な方法で情報が入手できる環境を整備してきました。

さらに、学習相談については「生涯学習サポートボランティア制度」※を平成21年度に立ち上げ、だれでも気軽に相談できる体制を整備しました。

#### 〔課題〕

生涯学習情報サイト「e-glad!」では、トップページのアクセス数が平成21年度で月平均約2,000件であり、生涯学習市民アンケートの結果から生涯学習情報サイト「e-glad!」を知っていると回答した市民は7%であり、内容の見直しや市民への周知を図っていく必要があると考えます。

生涯学習情報紙『グラッド』については、生涯学習市民アンケートの結果では知っていると回答した市民が18.1%あり平成11年のアンケート結果の6.8%から大幅に増えています。しかし、知っていると回答した市民

のなかで、活用したことがあると回答した人は25.1%であり、平成11年の39.3%から大幅に減少しています。このことから、掲載内容について市民ニーズの把握に努め見直しを図る必要があると考えます。

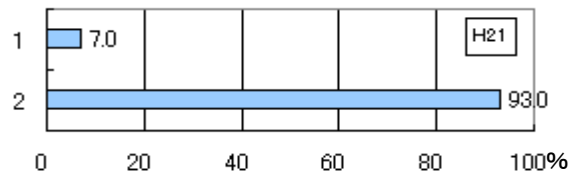
参考資料<市民アンケート結果>

〔生涯学習情報サイト「e-glad!」に関して〕

質問事項：生涯学習情報サイト「e-glad!」についておたずねします。

「e-glad!」をご存知ですか。

1. 知っている

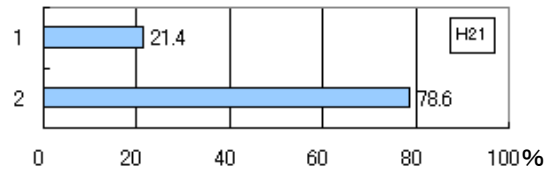


2. 知らない

質問事項：前問で「知っている」と答え方のみお答えください。

「e-glad!」を活用されたことがありますか。

1. ある

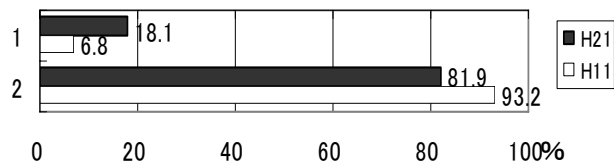


2. ない

〔生涯学習情報紙『グラッド』に関して〕

質問事項：生涯学習情報紙『グラッド』をご存知ですか。

1. 知っている

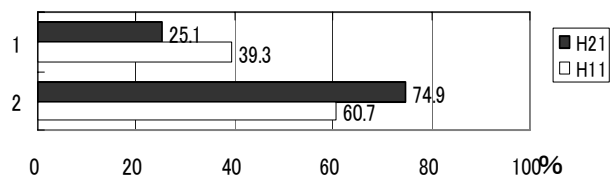


2. 知らない

質問事項：前問で「知っている」と答えた方のみお答えください。

『グラッド』を活用されたことがありますか。

1. ある



2. ない



## 4 生涯学習社会における新たな学校教育の確立

### 〔取り組み状況〕

生涯学習の一環としての学校教育の新たな姿を求め、教育方法の多様化や魅力的な学習活動を可能にするシステムや場の整備、地域に開かれた学校としての仕組みと場の整備を図ることを施策の柱として取り組んできました。

授業の終了後（放課後）に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るため、小学校低学年児童（3年生以下）を対象にした「放課後児童クラブ」<sup>※</sup>や、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の人の参画により、子どもたちと共に勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを行なう「放課後子ども教室」<sup>※</sup>を設置しました。

学校と地域の連携・協力では、学校を核にして地域ぐるみで子どもを育てる目的で、「地域教育ボランティア制度」<sup>※</sup>を全小学校で立ち上げました。

また、現在全52小学校区を対象に、子どもたちが健やかに育つことができる社会の構築を目指し、市民館を中心として地域の自主的な教育力を向上させるための事業として「地域いきいき子育て促進事業」<sup>※</sup>を実施しています。

### 〔課題〕

学校と地域の連携については、一步一步着実に成果をあげていますが、家庭や地域がその役割の重要性を再認識するとともに学校、家庭、地域が一体となった教育システムの構築を図る必要があると考えます。

## 5 総合的な生涯学習の推進体制の確立

### 〔取り組み状況〕

市民の多様かつ高度な学習活動は、市の多くの部・課に関連するとともに、大学・企業・民間・団体等と連携して総合的に推進していく必要があり、市の推進体制組織整備の推進を図り、連携のための仕組みを整備することを施策の柱として取り組んできました。

生涯学習市民大学トラムでは、学識経験者、活動実践者からなる「生涯学習市民大学トラム運営委員会」※を設置し充実を図ってきました。

また、市内の大学との間で、生涯学習、文化、まちづくりなどの多様な分野で相互に連携・協力し、地域社会の発展と人材の育成を図るための協定「(大学との連携・協力に関する協定(包括協定))」※を締結しました。

### 〔課題〕

大学連携や「生涯学習市民大学トラム運営委員会」など官学との連携はある程度できていると考えますが、大学との更なる連携の強化を図るとともにボランティア・市民活動団体、民間企業などの意見を取り入れるための体制作りをする必要があると考えます。